

令和5年度当初予算・令和4年度2月補正

支出科目	款：教育費 項：高等学校費，特別支援学校費，保健体育費 目：高等学校総務費，高等学校管理費，特別支援学校費，保健体育総務費
担当課	学校経営戦略推進課，乳幼児教育支援センター，豊かな心と身体育成課，特別支援教育課
事業名	教育委員会新型コロナウイルス感染症対応事業（国庫）

目的

新型コロナウイルス感染症の拡大による様々な課題に迅速かつ適切に対処するため，国の「新型コロナウイルス感染症対策」等を活用し，対応策を実施する。

事業説明

対象者

県立学校の児童生徒及び教職員，市町等

事業内容

内 容	要求額	
	令和4年度 2月補正予算	令和5年度 当初予算
臨時医等謝金	—	448
通学対策費	685,405	—
感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	239,400	—
教育支援体制整備事業	8,900	—
	2,250	—
合 計	935,955	448

(単位：千円)

成果目標

- 事業目標：新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び児童生徒の学びの保障等に必要環境の確保

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	令和5年度 当初予算	448	448	0	0	0	0	0	0
	令和4年度 2月補正予算	935,955	935,955	0	0	0	0	0	0
要求額	令和5年度 当初予算	448	448	0	0	0	0	0	0
	令和4年度 2月補正予算	935,955	935,955	0	0	0	0	0	0
令和4年度 当初予算額	619,740	619,740	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち，新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（R4：462,403千円，R5：448千円）

査定結果

要求どおり

令和4年度2月補正

支出科目	款：教育費 項：教育総務費、保健体育費 目：私学振興費、保健体育総務費
担当課	高校教育指導課、豊かな心と身体育成課、特別支援教育課、学事課
事業名	学校給食等負担軽減事業（国庫）

目的

食材価格が高騰する中においても、これまでどおり栄養バランスや量を保った学校給食等を実施するため、学校への支援を行うことで、保護者の負担軽減を図る。

事業説明

対象者

学校給食等を実施する県立学校及び私立幼稚園（子ども・子育て支援新制度に移行していない園）・小学校・中学校・高等学校の設置者

事業内容

学校給食等における、食材費の価格上昇分を支援する。
【期間】令和5年4月～令和5年9月

（単位：千円）

内 容		2月補正 要求額
学校給食費の 負担軽減	【県立】 ・学校給食19校 （中・高等学校4校、特別支援学校15校） ・寄宿舍14校 （中・高等学校11校、特別支援学校3校）	24,498
	【私立】 ・学校給食43校 （幼稚園37園、小学校4校、中学校2校） ・寄宿舍20校 （小・中・高等学校20校）	40,790
合 計		65,288

成果目標

- 事業目標：栄養バランスや量を保った学校給食等の実施

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	65,288	65,288	0	0	0	0	0	0	0
要求額	65,288	65,288	0	0	0	0	0	0	0
現予算額	48,652	48,652	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（65,288千円）

査定結果

要求どおり

令和5年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費，高等学校費，特別支援学校費 目：教育指導費，高等学校管理費，特別支援学校費
担当課	学校経営戦略推進課，義務教育指導課，個別最適な学び担当，高校教育指導課，特別支援教育課
事業名	「学びの変革」推進事業（一部国庫）【一部新規】

目的

多様な学習機会と場の提供等を通じた「個別最適な学び」を推進するとともに、デジタル技術の急速な進展を踏まえ、あらゆる教育活動において、日常的にデジタル機器等を活用する環境を整え、情報モラルを含めた子供たちのデジタルリテラシーの向上を図るほか、デジタル技術の効果的な活用等を通じた、子供たちの主体的な学びを促す教育活動の充実や、グローバルマインドの涵養を図る教育環境の整備などにより、「学びの変革」の更なる加速に取り組む。

事業説明

対象者
児童生徒，教員

事業内容

内 容		(単位：千円) 要求額
カリキュラムの質的向上	○学科等の特色を生かしたカリキュラムの開発 ・生徒の深い学びにつなげていくため、学校全体で組織的に学科等の特色を生かしたカリキュラムを開発	25,402
	○カリキュラム・マネジメントの充実に向けた研修 ・学校全体でカリキュラム・マネジメントの効果的・効率的な推進を図るため、管理職，主任等を有機的に結び付ける仕組みを構築	8,648
	○児童生徒の「主体的な学び」を促すカリキュラムの開発 ・小学校と中学校が連携し、プロジェクト型学習を取り入れた探究的な学習に係るカリキュラム等を開発	1,401
探究的な学びに必要な学習環境の充実【一部新規】	○デジタルを基盤とする環境整備 ・生徒一人1台コンピュータを保護者負担により導入することと併せて、学校で使用する周辺機器の整備や、活用のための支援及び研修を実施	201,974
	○中山間地域の学校における遠隔教育の推進 ・遠隔教育システムを活用することにより、中山間地域等に位置する県立高等学校において、探究的な学びの実現等につながる教育活動を展開 ・遠隔授業の配信回数を増やすとともに、遠隔授業による単位認定を実施	22,706
	○STEAM教育の視点を取り入れた探究活動の充実 ・学校が設定した生徒の資質・能力の育成のため、実社会に即した教科横断的な学びを実践するカリキュラムを開発	9,327
	○サミットの開催を契機とした探究活動の実施【新規】 ・県立高校の生徒を対象に平和，産業等をテーマにした探究活動を，国際交流を通じて実施	8,300
	○Stanford e-Hiroshima ・スタンフォード大学と連携した遠隔講座を開設し，より高度な学びの機会を提供	6,250
	○「主体的な学び」の充実に向けた研修内容の再構築 ・「本質的な問い」を設定する力や生徒をファシリテートする力・評価する力など，主体的な学びに必要な資質・能力を習得する研修を実施	5,096
資質能力の評価方法の充実	○資質・能力定着状況の多面的評価の充実 ・生徒の資質・能力の定着状況を客観的に評価する手法を研究	14,804
個別最適な学びの促進	○個別最適な学びの推進 ・児童生徒の個々の理解度や興味・関心などを考慮した学習活動の充実に向けた先進事例の普及・推進	2,587
主体的な学びを促す授業イメージの共有	○「学びの変革」推進に向けた授業イメージの共有 ・「学びの変革」の更なる推進に向け，県内指定校の取組を普及するためのオンライン実践交流会等を実施	660
グローバルマインドの涵養を図る教育環境の整備【一部新規】	○中学校英語力向上総合対策プロジェクト【一部新規】 ・英語を使ってコミュニケーションを図る機会の充実や「話すこと」調査等を実施	42,590
合 計		349,745

※STEAM教育：STEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) に加え，芸術，文化，生活，経済，法律，政治，倫理等を含めた広い範囲でA (Liberal Arts) を定義し，各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な教育

成果目標

- ワーク : 8 学びの変革の推進
- ワーク目標 : 8割以上の教員が主体的な学びを実践している学校の割合
 (実績) 小 : 43.9% (R4) , 中 : 40.7% (R4) , 高 : 46.4% (R3)
 (R5目標) 全校種100% (R7目標) 全校種100%
 カリキュラム・マネジメントが組織的に実践できている高等学校の割合
 (R3実績) 95.3% (R5目標) 100% (R7目標) 100%
 課題発見・解決学習に取り組んでいる小・中学校の割合
 (R4実績) 小 : 97.1% , 中 : 94.6% (R5目標) 全校種100% (R7目標) 全校種100%
 外国人との積極的なコミュニケーションが大切だと考える生徒 (中学生) の割合
 (R4実績) 57.5% (R5目標) 63.0% (R7目標) 65.0%

事業費 (単位: 千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	349,745	3,901	0	0	0	0	990	0	344,854
要求額	349,745	3,901	0	0	0	0	990	0	344,854
前年度当初予算額	335,562	17,542	0	0	0	0	972	0	317,048

査定結果

要求どおり

令和5年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費
担当課	乳幼児教育支援センター・生涯学習課
事業名	「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト（一部国庫）

目的

全県的な乳幼児期の教育・保育の質の向上に向け、「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランに基づいた家庭教育や教育・保育施設への支援などの取組を実施し、本県が目指す乳幼児の姿の実現を図る。

事業説明

対象者

乳幼児，保護者，教育・保育施設の教員・保育士 等

事業内容

(単位：千円)

内 容	要求額
教育・保育内容の充実等	44,788
幼保小連携・接続の推進	4,772
家庭教育支援の充実	9,081
乳幼児教育支援センターの体制整備	40,797
合 計	99,438

成果目標

- 事業目標
 - ・ 幼児教育アドバイザー訪問事業活用又は研修参加した園所等の割合 (R3実績) 65.9% (R5目標) 85%
- ワーク：7 乳幼児教育・保育の充実
- ワーク目標
 - ・ 自己評価を実施している園・所の割合 (R3実績) 91.1% (R5目標) 94% (R7目標) 100%
 - ・ 「遊びの中に学びがある」ことについて、理解している保護者の割合 (R3実績) 83.0% (R5目標) 89% (R7目標) 91%

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	99,438	4,704	0	0	0	0	890	0	93,844
要求額	99,438	4,704	0	0	0	0	890	0	93,844
前年度当初予算額	87,546	4,555	0	0	0	0	1,159	0	81,832

査定結果

要求どおり

令和5年度当初予算・令和4年度2月補正

支出科目	款：総務費 款：教育費	項：地域振興費 項：教育総務費	目：スポーツ推進費 目：教育指導費
担当課	スポーツ推進課, 豊かな心と身体育成課, 義務教育指導課		
事業名	学校部活動地域移行環境整備事業（一部国庫）【一部新規】		

目的

令和5年度以降の休日の中学校部活動の地域連携・地域移行に向けて、市町が地域の実情に応じて必要な取組を進めるための環境を整える。

事業説明

対象者

市町, 県民

事業内容

(単位：千円)

区分	内 容	要求額	
		令和4年度 2月補正予算	令和5年度 当初予算
地域移行等に向けた 実証事業など 【教育委員会】 【一部新規】	○部活動の地域移行等に向けた実証事業を実施 〔対象〕 ・市町教育委員会に委託を行い、それぞれの地域において実証事業を実施（運動部・文化部）等 〔国庫〕 10/10 〔実施予定市町〕 延べ16市町	—	28,800
	○プロスポーツチーム等と連携し、市町を対象に、地域移行に向けた指導スキルや運営方法の研修をモデル的に実施【新規】 〔対象〕 地域の指導者, 部活動指導員, 教員等 〔内容〕 地域移行に必要なノウハウ, 効果的な練習方法等	—	1,807
地域移行に向けた 体制構築 【地域政策局】 【新規】	○体制構築の取組を検討する市町に対する支援 〔対象経費〕 ・コーディネーター研修会開催経費 ・方針策定等に係る協議会開催経費 等 〔補助率〕 2/3	403	—
	○広域的な調整 〔内容〕 ・部活動の地域移行に係る県市町会議, 研修会等の開催	1,577	—
合 計		1,980	30,607

成果目標

○ 事業目標：少子化の中でも将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳								
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源	
査定額	令和5年度 当初予算	30,607	28,800	0	0	0	0	0	0	1,807
	令和4年度 2月補正予算	1,980	726	0	0	0	0	0	0	1,254
要求額	令和5年度 当初予算	30,607	28,800	0	0	0	0	0	0	1,807
	令和4年度 2月補正予算	1,980	726	0	0	0	0	0	0	1,254
前年度 当初予算額	3,700	3,700	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和4年度2月補正

支出科目	款：教育費 項：教育総務費，特別支援学校費，保健体育費 目：私学振興費，特別支援学校費，保健体育総務費 ほか
担当課	学事課，安心保育推進課，障害者支援課，乳幼児教育支援センター，特別支援教育課
事業名	こどもの安心・安全対策支援事業（一部国庫）【一部新規】

目的

送迎用バスへの安全装置の設置経費の支援等により，子供の安全を守るための万全の対策を講じるとともに，子供を預けている保護者の不安を解消する。

事業説明

対象者

保育所等，幼稚園（幼稚園型認定こども園を含む。），特別支援学校等，障害児通所支援事業所の設置者

事業内容

(単位：千円)

内 容	2月補正 要求額									
○ 送迎用バスに安全装置を設置するための費用を，設置者に補助する。[健康福祉局] 障害児通所支援事業所：165事業所（バス303台） ※補助上限180千円/台	54,540									
○ 登園管理システム及びICTを活用した子供見守りサービスの導入支援等【新規】										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td> <障害児通所支援事業所> [健康福祉局] 登園管理システム：58事業所 ※補助率4/5，補助上限560千円/園 ICTを活用した子供見守りサービス：59事業所 ※補助率4/5，補助上限160千円/園 </td> <td style="text-align: right;">41,920</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <公立幼稚園・県立特別支援学校幼稚部> [教育委員会] 登園管理システム：35園・2校 ※補助率4/5，補助上限560千円/園 等 ICTを活用した子供見守りサービス：38園 ※補助率4/5，補助上限160千円/園 </td> <td style="text-align: right;">32,203</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <私立幼稚園> [環境県民局] 登園管理システム：120園 ※補助率4/5，補助上限560千円/園 ICTを活用した子供見守りサービス：140園 ※補助率4/5，補助上限160千円/園 </td> <td style="text-align: right;">89,600</td> </tr> </table>		<障害児通所支援事業所> [健康福祉局] 登園管理システム：58事業所 ※補助率4/5，補助上限560千円/園 ICTを活用した子供見守りサービス：59事業所 ※補助率4/5，補助上限160千円/園	41,920		<公立幼稚園・県立特別支援学校幼稚部> [教育委員会] 登園管理システム：35園・2校 ※補助率4/5，補助上限560千円/園 等 ICTを活用した子供見守りサービス：38園 ※補助率4/5，補助上限160千円/園	32,203		<私立幼稚園> [環境県民局] 登園管理システム：120園 ※補助率4/5，補助上限560千円/園 ICTを活用した子供見守りサービス：140園 ※補助率4/5，補助上限160千円/園	89,600	
	<障害児通所支援事業所> [健康福祉局] 登園管理システム：58事業所 ※補助率4/5，補助上限560千円/園 ICTを活用した子供見守りサービス：59事業所 ※補助率4/5，補助上限160千円/園	41,920								
	<公立幼稚園・県立特別支援学校幼稚部> [教育委員会] 登園管理システム：35園・2校 ※補助率4/5，補助上限560千円/園 等 ICTを活用した子供見守りサービス：38園 ※補助率4/5，補助上限160千円/園	32,203								
	<私立幼稚園> [環境県民局] 登園管理システム：120園 ※補助率4/5，補助上限560千円/園 ICTを活用した子供見守りサービス：140園 ※補助率4/5，補助上限160千円/園	89,600								
○ 運転手やバスに同乗する職員に対する安全管理研修を実施【新規】 [健康福祉局]	1,000									
合 計	219,263									

成果目標

○ 事業目標：子供の安全を守るための対策の実施

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	219,263	202,880	0	0	0	0	0	0	16,383
要求額	219,263	202,880	0	0	0	0	0	0	16,383
現計予算額	102,240	102,240	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和5年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：教育総務費，中学校費，高等学校費，社会教育費 目：教育指導費，教職員費，高等学校総務費，社会教育総務費 款：高等学校等奨学金 項：高等学校等奨学金 目：高等学校等奨学金
担当課	教育支援推進課，乳幼児教育支援センター，義務教育指導課，個別最適な学び担当，豊かな心と身体育成課，生涯学習課
事業名	学びのセーフティネット構築事業（一部国庫）【一部新規】

目的

貧困の世代間連鎖を断ち切るため，家庭の経済的事情等に関わらず，全ての子供の能力と可能性を最大限高めることができる教育を実現する。

事業説明

対象者

乳幼児，児童生徒，保護者等

事業内容

		(単位：千円)
内 容		要求額
学力向上対策の強化	○小学校低学年段階からの学ぶ喜びサポート校事業（22小学校）	3,443
相談支援体制等の強化 【一部新規】	○スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置 ・中学校区：48校区（+6校区），高等学校拠点校：4校 ・配置総時間数：30,590時間（+2,200時間）	130,192
	○子供の居場所づくり ・放課後子供教室，地域未来塾等の実施	53,817
	○不登校等児童生徒対策 ・不登校SSR推進校への支援及び 県教育支援センター（SCHOOL“S”）の運営 ・関係団体等との連携について検討 ・「東大LEARN in 広島」等の実施 ・不登校等児童生徒に対する支援に向けた「個々の状況に応じたプログラム」の開発，検証等（国受託事業）【新規】	23,902
経済的支援の拡充 〔高等学校等奨学金特別会計〕	○ICT機器の購入に係る給付制度 経済的に困難な家庭（非課税世帯）の生徒に対して，生徒1人1台のPC端末の購入費用等の給付を実施	210,000
合 計		421,354

【再掲】「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト

内 容		要求額
乳幼児期の教育・保育の充実	○教育・保育内容の充実等 ○幼保小連携・接続の推進 ○家庭教育支援の充実 ○乳幼児教育支援センターの体制整備	99,438

成果目標

- ワーク : 10 学びのセーフティネットの構築
- ワーク目標：不登校児童生徒への支援の結果，好ましい変化が見られた児童生徒の割合
(R3実績) 49.4% (R5目標) 52.7% (R7目標) 53.3%

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳								
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰越金	諸収入	県債	一般財源	
査定額	一般会計	211,354	75,929	0	0	0	0	1,211	0	134,214
	特別会計	210,000	0	0	0	0	210,000	0	0	0
要求額	一般会計	211,354	75,929	0	0	0	0	1,211	0	134,214
	特別会計	210,000	0	0	0	0	210,000	0	0	0
前年度当初予算額	一般会計	180,602	55,397	0	0	0	0	611	0	124,594
	特別会計	269,500	0	0	0	0	269,500	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和5年度当初予算・令和4年度2月補正

支出科目	款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費
担当課	特別支援教育課、施設課
事業名	特別支援教育ビジョン推進事業（一部国庫）【一部新規】

目的

特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育ビジョンに基づく施策を実施する。

事業説明

対象者

特別支援学校等の幼児児童生徒及び教員

事業内容

内 容	要求額	
	令和4年度 2月補正予算	令和5年度 当初予算
特別支援教育体制整備	—	1,317
教員の専門性向上	—	3,089
就職支援プロジェクト	—	3,996
医療的ケア実施体制の整備 【一部新規】	—	49,836
教育環境の充実・整備	56,154	—
	—	(債務2,050,852) 815,612
特別支援教育指導委員会	—	367
合 計	56,154	(債務2,050,852) 874,217

成果目標

- 事業目標：個別の指導計画作成率
(R3実績) 幼稚園：100%、小学校：99.5%、中学校：98.5%、高等学校：96.6%
(R5目標) 幼稚園：100%、小学校：99.0%、中学校：99.0%、高等学校：95.0%
- ワーク：11 特別支援教育の充実
- ワーク目標：個別の教育支援計画作成率
(R3実績) 幼稚園：100%、小学校：98.3%、中学校：97.4%、高等学校：96.4%
(R5目標) 幼稚園：99.5%、小学校：97.5%、中学校：97.5%、高等学校：99.5%
(R7目標) 幼稚園：100%、小学校：100%、中学校：100%、高等学校：100%

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	令和5年度 当初予算 (債務2,050,852) 874,217	462,300	0	0	0	0	402	1,260,600	327,952)
	令和4年度 2月補正予算	198,880	0	0	0	0	0	595,900	79,035
要求額	令和5年度 当初予算 (債務2,050,852) 874,217	462,300	0	0	0	0	402	1,260,600	327,952)
	令和4年度 2月補正予算	198,880	0	0	0	0	0	595,900	79,035
令和4年度 当初予算額	118,112	938	0	0	0	0	300	77,800	39,074

査定結果

要求どおり

令和5年度当初予算

支出科目	款：教育費 款：教育費 款：教育費	項：教育総務費 項：高等学校費 項：特別支援学校費	目：教育指導費 目：高等学校管理費 目：特別支援学校費
担当課	施設課、学校経営戦略推進課		
事業名	県立学校施設設備整備事業（一部国庫）		

目的

児童・生徒等の学習や生活の場であり、非常災害時には地域住民の避難所等としての役割も果たす学校施設の老朽化対策（長寿命化改修等）や、防災機能の強化、「学びの変革」を推進する施設設備の整備などを進めるとともに、情報教育推進のための設備整備を進めることにより、安全・安心で質の高い教育環境の整備を計画的かつ着実に進める。

事業説明

対象者

県立の中学校、高等学校及び特別支援学校の児童・生徒等

事業内容

		(単位：千円)
内 容		要求額
学校改修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校舎等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内外部改修工事 ～ 12校 等 ○ 屋外運動場整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンド改修工事 ○ 防球ネット等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防球ネット等改修工事 等 	(債務1,857,175) 2,889,737
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 屋上防水工事 ～ 9校程度 ○ 建物法定点検 ～ 28校 ○ 維持修繕（土砂災害対応安全対策を含む。）、設備整備、維持管理 等 	(債務343,074) 1,399,288
空調設備維持管理	○ 空調設備の維持管理費用等 【教育振興基金充当】	604,430
照明LED化	○ 校舎等照明LED化改修工事	249,000
情報化教育推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報教室の生徒用PC等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒用PC賃貸借 ○ Heiwaネットの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク拠点機器、回線、維持経費 等 ○ 校内通信ネットワークの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内通信ネットワーク環境の維持管理、回線経費 等 	718,623
合 計		(債務2,200,249) 5,861,078

成果目標

○ 事業目標：安全・安心で質の高い教育環境の確保

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	(債務2,200,249) 5,861,078	16,093	0	0	0	25,800	1,053	3,727,700	2,090,432
要求額	(債務2,200,249) 5,861,078	16,093	0	0	0	25,800	1,053	3,727,700	2,090,432
前年度当初予算額	(債務1,417,025) 5,275,178	5,093	0	0	0	25,200	12,696	3,209,100	2,023,089

査定結果

要求どおり

令和5年度当初予算

支出科目	款：教育費	項：教育総務費	目：教育指導費
担当課	高校教育指導課		
事業名	産業教育推進事業（単県）【一部新規】		

目的

次代の産業を支える専門高校生等に対し、基盤となる基礎的・基本的な技術・技能に加え、産業界のニーズに呼応する形で、デジタル化に対応した産業機器を活用するためのベースとなる力や、将来を見据え、新たな価値や付加価値を創出できる素養（資質・能力）が身に付けられるよう、職業教育の充実を図る。

事業説明

対象者

農業、工業、商業、家庭、看護及び福祉に関する学科又は総合学科を設置している高等学校（25校）の生徒、教員

事業内容

		（単位：千円）
	内 容	要求額
産業界のニーズや将来的な社会変化に対応した職業教育の充実【一部新規】	○産業界に必要な資質・能力の育成を図るためのカリキュラム開発等【一部新規】 ○教職員の資質能力向上を図るための先端技術を有する企業や大学、研究所等の専門家を招聘した研修会の開催等 ○教育資源の活用を図るための学校と産業界をつなぐコーディネーターの配置等の教育環境整備【新規】	25,545

成果目標

- 事業目標 : 将来の夢や目標を持っていると肯定的に回答した専門高校・専門学科生徒の割合
(R3実績) 71.0% (R5目標) 77%
- ワーク : 12 キャリア教育・職業教育の推進
- ワーク目標 : 新規高等学校卒業者の就職率
(R3実績) 98.6% (全国平均97.9%) (R5目標) 全国平均以上 (R7目標) 全国平均以上
新規高等学校卒業者の3年以内離職率
(R3実績) 33.9% (全国平均36.9%) (R5目標) 全国平均以下 (R7目標) 全国平均以下

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	25,545	0	0	0	0	0	0	0	25,545
要求額	25,545	0	0	0	0	0	0	0	25,545
前年度当初予算額	18,960	0	0	0	0	0	0	0	18,960

査定結果

要求どおり

令和5年度当初予算

支出科目	款：教育費 項：保健体育費 目：体育振興費
担当課	豊かな心と身体育成課
事業名	全国高等学校総合体育大会準備事業（単県）【新規】

目的

令和7年度に中国ブロックで開催する全国高等学校総合体育大会の開催準備を進める。

事業説明

対象者

高校生

事業内容

- 令和7年度全国高等学校総合体育大会

【主催】（公財）全国高等学校体育連盟，開催県・開催県教育委員会，関係中央競技団体（競技種目別大会は，会場地市町・会場地市町教育委員会を含む）

【開催期間】 令和7年7月下旬～8月下旬

【開催内容】 総合開会式及び30競技34種目の競技種目別大会を，中国5県及び固定開催地で分散開催
広島県では広島市で総合開会式，4市町で7競技8種目を開催

・広島市	：総合開会式，陸上競技，水泳（競泳），剣道
・福山市	：水泳（飛込），ボート，少林寺拳法
・福山市，尾道市	：テニス
・安芸太田町	：登山

1 広島県実行委員会負担金

（単位：千円）

	内 容	要求額
広島県実行委員会運営費	○総会及び専門部会等の設置・運営 ○先催大会（令和5年度：北海道，令和6年度：北部九州）の準備及び運営状況の視察，各種会議への参加 ○県内会場予定地の視察，現地調査の実施	9,461
高校生による大会準備活動	○広島県実行委員会の企画立案及び県全体の業務推進を担う「高校生活動推進委員会」の設置・運営 ○高校生がデジタル技術を効果的に活用しながら主体的に「広島版」の総合開会式の企画や広報・おもてなし活動等を展開	4,507
小 計		13,968

2 全国高校総体推進組織運営費

全国高校総体の推進組織運営費	○建物賃借料，光熱費，事務費等	8,916
合 計		22,884

成果目標

- 事業目標：高校生による高校生のための安全・安心な大会の実現

事業費

（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	22,884	0	0	0	0	0	0	0	22,884
要求額	22,884	0	0	0	0	0	0	0	22,884
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり